

大阪市立大学 同窓会 報

第 5 号

発行：大阪市立大学同窓会

<http://www.osaka-cu.net/>〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3-138
大阪市立大学 田中記念館 有恒会事務局 TEL:06-6605-2087

杉本キャンパスに遊びにきませんか？

杉本町駅東口



東改札口設置は長い間の懸案事項であったが、平成24年12月に完成。利用者は「開かずの踏み切り」から解放され、バリアフリー関係も整備されている。

さくら通り



JR杉本町駅の線路に沿って東側に整備された通り。この通りには、「はばたけ夢基金」による記念植樹をはじめ、桜が通りの片側一面に植樹されており、春にはきれいな桜並木となる。

南部ストリート



JR杉本町駅東口を出て、理系、教養棟エリアなどにつながる通り。ノーベル賞を受賞された南部陽一郎先生にちなんでネーミングされた。

けやき通り



新しい理系共通実験棟と生活科学部の間に整備された通り。小径と円形ベンチが配置され、その間をクロスロードが交わるおしゃれな空間となっている。

理系共通実験棟



平成26年4月にオープンした学舎。理系学舎整備事業の一環として行われ、入口のホール吹き抜けの箇所には南部陽一郎先生の学説を模したオブジェクトがあり、開放感にあふれている。

学術情報総合センター&屋上庭園



このセンターは平成8年に完成、図書館もセンター内に移転した。平成26年春には屋上庭園が完成した。周りの景観はすばらしく、北方向にはあべのハルカスが望める。

田中記念館

市大OBの田中吉太郎氏の寄付により建設され、昭和50年に開館した。ガラス張り(カーテンウォール)の建物で多目的な施設である。平成27年、一部改修されて同窓会館になる。



至天王寺駅

JR杉本町駅

JR阪和線

至堺市駅

新法学部棟

平成4年建設、11階建てで法学部研究室、大講堂室、大会議室があり、講演会、シンポジウム、セミナー等で広く利用されている。



1号館・時計台

本館と呼ばれ、昭和9年建設で杉本キャンパス創設時の学長室等があった管理棟本館であり、登録有形文化財(文化庁)に指定されている。

人工光合成研究センター



平成25年6月、これまでの夢の技術とされてきた人工光合成を加速的に実現させる産学官連携拠点として設立された。最先端の生化学実験および分析機器施設などを備えている。

学生サポートセンター

昭和9年建設の旧図書館と研究室であったが、平成23年に学生サポートセンターに改修し、就職支援室など学生を対象とする部署の事務室がある。



高原記念館

平成18年建設、市大OBで初代学友会会長の高原慶一郎氏の寄付による。建物は本学建築学科の横山教授の設計、窓に再生ガラスを床に木を使用し緑地を生かしたデザイン。



「周年記念同窓会」開催のおすすめ！

卒業後5周年、10周年、20周年・・・40周年、50周年という風に節目の年に記念の同期会・同窓会を開催される方が増えてきています。

「懐かしい杉本町に戻ってきて、新設の『南部ストリート』(南部陽一郎学芸教授、ノーベル賞受賞記念)を経て、あの

頃とは全く見違えるように整備された緑豊かなキャンパスを見学し、学生食堂で昼食、夕方は懇親パーティーで昔話に花を咲かす」のコースがおすすめです。同期生同士の親睦・交流を深めていただくと同時に母校に対する理解と支援につなげていただきたく開催をおすすめします。

※卒業後5周年(H20卒)、10周年(H15卒)、20周年(H5卒)、30周年(S58卒)、40周年(S48卒)、50周年(S38卒)の皆様、日時等具体的な実施計画がまとまりましたら有恒会事務局にご一報、ご相談ください。
幹事の方に同期の方の最新名簿(氏名・連絡先)、郵送用宛名ラベルの提供のほか大学広報担当に連絡し見学会日程の調整などお手伝いをさせていただきます。

連絡・お問い合わせ先

〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学内 有恒会事務局
TEL: 06-6605-2087
FAX: 06-6605-2088
E-mail: yukokai@ado.osaka-cu.ac.jp

革新的イノベーション
創出プログラム

COI-T

人工光合成研究センター所長
神谷 信夫

革新的イノベーション創出プログラム（COI-STREAM）は昨年度より開始された（http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/coi/index.htm）。大阪市立大学を中核とするCOI-T（「トリアル」の略）プロジェクト「次世代水素エネルギー社会の実現」は、産業東5社（富士化学工業株）、大和ハウス工業株）、リサーチリーダー・神谷信夫（大阪市立大学）と、プロジェクトリ

これらは循環型生命維持装置を構成し、本学で展開されている防災型「いのちラボ」プログラムとの連携により人工光合成水素の供給量の拡大をはかる。「いのちラボ」は大災害が発生した際に、小学校に避難した人々（都市の小学校区は概算1万人のコミュニティであり、その1割にあたる1000人を想定）が、外部からの物資やエネルギーの供給を断たれた状況においても、小学校に実装された生命維持装置と備蓄により1週間生存できることを目指している。

またこの構想には、バイオマス起源の人工光合成水素に付随して発生する二酸化炭素を有効利用する植物工場も含まれており、災害時の食糧供給に寄与する。今回のCOIプロジェクトは、より大規模なCOI本申請に向けたトリアル実

本学が全国第3位

企業の人事担当が選ぶ
大学総合ランキングつなげて、つながる
無限大の創造力女性研究者ネットワークシステムの
構築・運用（女性研究者研究活動支援事業）

女性研究者ネットワークシステムログインページ（左）とホームページ（右）

7%、「まあまあとれている」43・7%。一方で、抱えている悩み（複数回答）として第一に挙げられるのもやはり「研究時間の確保」（27・5%）であり、「仕事・研究とプライベートの両立」（22・9%）です。さらにもう一歩踏み込んで、一日の生活時間を尋ねてみると、男性教員においては育児時間（プライベート）が長い教員ほど教育時間も確保できていると回答しているのに対して、女性教員では、育児時間（プライベート）が長いほどワーク・ライフ・バランスへの満足度は低くなる

有したいという声もあります。本学ではまだまだ女性研究者の数が少ないという現状から、特に女性研究者同士の交流を持ちたいというニーズがあることも解りました。

そこで本支援室では、ポータル型サイトの設置を通じて「女性研究者ネットワークシステム（SNS機能付き）」を構築し、稼働をはじめました。本学の女性研究者をはじめ、学生・大学院生はもとより博士研究員たちも、男性女性を問わず、支援員として登録して頂くことで、本ネットワークシステム上で女性研究者と研究支援員のマッチングはも

員が配偶者分べん休暇や育児休業を取得するなど、子育てにかかわる中心的な役割を果たす時代に移行しています。本支援室では、市大にかかわるすべての人のつながりを大切に、女性研究者と共に男性研究者も研究を継続し、成果を上げられる環境づくりを目指し、日々活動が続いております。

お問い合わせのページ
（女性研究者支援室）

U R L <https://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/contact/>
T e l 06-6605-3661
E-mail ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

第123回
ボート祭開催

晴れ渡る空の下、5月24日（土）・25日（日）に第123回ボート祭が大河川で開催された。コンサートバンド部による演奏で華々しく開会式が始まり、美術部青桃会によ

るライフアートの後、大阪市立大学の西澤学長から挨拶があり、大阪府大の方にも参加いただき、伝統あるボート祭が今年も開催されることの喜びを述べられた。また学長から、大阪市立大学が大阪府立大学と今後連携していききたい旨の挨拶があった。

ボート祭では、学部の部、文化系サークルの部、体育会系サークルの部、教職員の部、女子の部、市民の部の6つの部門に分かれてレースが行われた。特別レースとして学部選抜レースと学長レースも催された。学長レースでは、惜しくも大阪市立大学学長率いる「市大長艇」が、大阪府立大学役員が乗る「府大役員艇」に敗戦する結果となった。また特設されたステージでは、音楽系サークルやダンスサークル等がパフォーマンスをし、会場を盛り上げた。

ボート祭では、学部の部、文化系サークルの部、体育会系サークルの部、教職員の部、女子の部、市民の部の6つの部門に分かれてレースが行われた。特別レースとして学部選抜レースと学長レースも催された。学長レースでは、惜しくも大阪市立大学学長率いる「市大長艇」が、大阪府立大学役員が乗る「府大役員艇」に敗戦する結果となった。また特設されたステージでは、音楽系サークルやダンスサークル等がパフォーマンスをし、会場を盛り上げた。

はばたけ夢基金
大学サポーター事務局

大阪市立大学同窓会の皆様には、はばたけ夢基金の募集にあたり、平素より募金へのご賛同・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成21年10月1日からスタートした「はばたけ夢基金」は、皆様の暖かいご支援ご協力を得まして平成26年8月末現在で、752,912千円となっております。本当に有難うございました。この貴重な寄附金は、本学学生への奨学金等寄付者の意向に基づく支出のほか、教育研究支援や学内施設の整備などに有効活用させて頂いております。

支出事業につきましては、平成24年度は、「さくら通り及び南部ストリートへの植樹」、「ボート祭等に使用するボート（3艘）の購入」となっております。平成25年度は、「平成25年度大阪市立大学国際シンポジウム」、「学術情報総合センター屋上庭園の設置に伴う助成」、「けやき通りの完成に合わせた理工地区北口への植樹」などへ支出しております。

また、平成26年度は、「海外留学渡航支援事業」、「田中記念館の同窓会館化への施設整備」を実施しております。はばたけ夢基金の終了後、平成26年10月1日からは、後継基金の「大阪市立大学夢基金」（期間の定めなく継続してご寄附の受付を行います）がスタート致します。

大阪市立大学が遙か未来にわたって、学生・卒業生・市民の皆様にあれ、夢のある魅力的な大学であり続けるため、引き続き皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。（事務局長・荻本謙二）

女性医師のための
環境づくり

私が市大医学部に入学（S29年）した時はクラス（44名）に女子学生は4名だったが、近年、市大医学部医学科入学者のおよそ30%が女子学生である。女性医師の比率は皮膚科・眼科では約40%、小児科・産婦人科では約30%強となっている。30歳代までの医師で見ると産婦人科では約70%、小児科では約50%が女性医師であり、もはや女性医師の活用なくして医療が成立しない時代となっている。

1999年に男女が対等な社会の構成員としてあらゆる分野の諸活動に参画する機会を確保することを目的に男女共同参画社会基本法が公布・施行されたが、実社会はそう簡単には変革しないのが現実。仕事をする女性に共通のこととして、出産・育児・子育てで女性の果たす役割にどう対処するかである。“出産・育児vs仕事”は“結婚vs仕事”となり、社会的に少子化・晩婚化に拍車をかけている。

そんな中、2006年、市大医学部医師会と大阪市勤務医師会にある双方の女性医師の会に

より大阪市女性医師ネットワークが設立された。35歳男性医師の就業率約90%に対し35歳女性医師は70%台半ばと約15%低い。大阪市女性医師ネットワークは女性医師の勤務環境改善のため勤務形態の多様化、院内保育所・病児保育室開設のための活動を行い、2007年、院内に病児保育室開設を実現した。

また、全国レベルでの活動団体としてNPO法人イージェイネットを発足させたのが56年卒の瀧野敏子医師。“女性医師の継続就労を実現するためには、すべての医療従事者の働きやすい病院就労環境をつくること”との認識から「働きやすい病院評価事業（ホスピレート）」を行い、書類審査だけでなく現地施設調査・面接審査のうえ認定証を発行している。

これらの問題は女性医師だけに固有の問題ではなく、女性研究者を始め働く女性に共通の課題である。近い将来、日本では労働力不足となることが懸念されている。高齢者の増加による介護や国内製造業で働く労働力の確保は危急の課題である。出産・育児と仕事が両立できる環境づくりは働く女性だけでなく、男性も待ち望んでいる。

（鶴原常雄・医昭35年卒）

全学同窓会、有恒会、理学部同窓会の共同企画として、現職公務員OB・OGと在学生の交流会が7月5日(土)本学学術情報総合センタ10階大会議室で行われた。

この企画は現職教員OB・OGとの交流会を含めて第4回目となる。

商・経、法・文、理、工、生各学部所属する58名の在学生が参加した。本学を卒業し、大阪府をはじめ大阪市・堺市・兵庫県・神戸市・京都市・奈良県・和歌山県に勤務されている23名の方々が講師として招かれた。

来賓としては大学側から桐山副学長、富澤

現職公務員OB・OGと在学生との交流会

学生担当部長、岩川就職支援室長が出席した。

第1部は13時に始まり、15時まで講師の方々によるお話と在学生からの質疑応答がなされた。

公務員として就職した動機、喜び、生きがい、勤務の実際、心構え、学生の間に経験しておくと等々熱意のこもった後輩への暖かいアドバイスがあった。

第2部は15時から17時まで、学術情報総合センター内ウィスティアにて、在学生とOB・OGのティーパーティー交流が行われた。

(事務局)

学生への就職支援活動

11月3日(祝)
開催!!

第13回 ホームカミングデー

大阪市立大学ホームカミングデーは本年度で13回目を迎え、全学同窓会との共催で11月3日(祝)開かれます。毎秋に開催されるこのイベントは卒業生や教職員OBが大学に集い、交流を深め、在学生ともつながりを持てる祭典です。思い出の母校で一日を過ごし、懐かしくも新しい「大阪市立大学の今」を感じ取っていただくことが目的です。

当日は午後1時からオープニングセレモニー(学情センター10F)でスタート、全学同窓会の定期総会に続いて恒例の講演会が開催されます。また、各学部同窓会、クラブ、OBによる様々なイベントがあり、締めとして学長を囲む懇親パーティーが行われます。

講演会は、シンクタンク・ソフィアバンク代表の藤沢久美さん(生活科学部平1卒)による演題『今、世界で求められる人材とは』です。藤沢さんは世界経済フォーラム(ダボス会議)でヤング・グローバル・リーダー2007に選ばれ、国内外で広範囲にわたり活躍されています。

(大学サポーター事務局)

祝

大阪市立大学同窓会

鹿児島支部発足！

平成26年5月17日、鹿児島中央駅のアミュプラザで5名の卒業生が集まり、発足いたしました。

3年程前から鹿児島支部の発足を依頼され続けておりましたが、大阪から遠く離れた本県の卒業生は5～7名程ではないですかと辞退しておりました。

ところが昨年末、市大同窓会の発足を契機とした鹿児島出身者88名(内女性35名)の卒業生名簿をいただき、びっくりしまして懇意にしていた後輩と相談の上、取り敢えず名簿住所に実在されていると思われる、年代の近い35名の卒業生に「連絡先確認」の往復葉書を発送しました。

そしてその内返信は10名で予想数(5%)を上回り、「県内では一人も市大出身者という人には出会いませんでした」とか「考えもしなかった鹿児島支部が立ち上がるのはとても楽しみです」等のコメントがあり、発足を決意しました。

発足会には大阪から森本副会長、植田事務局長や福岡から荒岡支部長も駆けつけご指導をいただき、発足の乾杯から始まり、芋焼酎で親睦を深めながら会長や支部長等を決定し、お互いの自己紹介をしながらあっという間に時間が過ぎ去りました。

また、鹿児島出身の大阪商業講習所の創立員

代表・五代友厚も話題にあがり、最後は「逍遙歌」で締めくくり素晴らしい発足会ができました。

これから、会員数十名の発足ですので、連絡をまだ取っていない卒業生と返事をいただけなかった方々へ「発足の案内」を差し上げ、鹿児島支部の会員数拡大に努めてまいります。これからの鹿児島支部発展につきご理解とご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆出席者◆

会長 平田 宗興(S46医学部)
支部長 中村 俊久(S47商学部)
副会長 池田 耕治(S53医学部)
副会長 斎藤加代子(S47生活科学部)
副会長 満園健士郎(S56商学部)

◆鹿児島支部長連絡先◆

住 所 〒890-0046
鹿児島市西田3-14-25
電 話 099-258-0661
メール ntoshisakurajima01@ae.auone-net.jp

白馬セミナーハウスをぜひご利用ください！

リフレッシュ
しませんか？

素晴らしい自然環境に恵まれた長野県白馬村に、本学の「白馬セミナーハウス」があります。北アルプス五竜岳に続く遠見尾根の上り口に位置し、樹林に囲まれた閑静な山荘です。白馬村からは白馬岳を始め後立山連峰の山々を間近に望み、遠見尾根や八方尾根、桤池高原にはゴンドラなどが整備されているので、登山をしない方でも素晴らしい展望と美しいお花畑を楽しむことができます。

南に少し足を伸ばせば安曇野。碌山美術館など数多い美術館を巡り、路傍に点在する愛らしい道祖神を訪ねるなど、四季折々の楽しみが待っています。

セミナーハウスは卒業生とご家族、同伴者も利用できます。食事は自前ですが、道具や食器は完備。近在に食材を購入できる店があり、外食先もいろいろあります。

管理人の井上さんは卒業生で、40年前責任者として建設に奔走され、山荘への思い入れから勤務先を1年で退職されて、現在に至るまで管理・運営に当たっておられます。

ご家族やお友達と一緒にセミナーハウスをご利用になり、素晴らしい自然環境を満喫されませんか。

(河崎清・経昭29卒)

- 所在地：長野県北安曇郡白馬村神城22203
- 電 話：0261-75-2931
- E-mail：hakubash@dhk.janis.or.jp
- アクセス：JR大糸線神城駅から徒歩10分。車の場合は長野自動車道・安曇野ICから国道147号・148号を経て現地へ。
- 申し込み先：学生支援課 ☎06-6605-2103
- 利 用 料：卒業生及び同伴者 1泊につき2,200円

同窓会

支部だより

奈良支部

会員増強を図り活性化をめざす

大阪市立大学同窓会奈良支部(高橋敏朗支部長)の平成26年度総会が4月12日(土)、春日野荘(奈良市法蓮町)で開かれ、約50人が出席。来賓に堀井巖参院議員(奈良選挙区)らが駆け付け、同窓の絆を強めた。

総会では、高橋支部長が「奈良県には大阪府に次ぐ6000人以上の市大卒業生がいる。京滋支部とも連携し、会を活性化して会員増強を図りたい」とあいさつ。来賓の宮野道雄副学長は「あべのハルカスに、生活習慣病に対応する人間ドック施設を、医学部と連携して開設。大阪府立大との統合は、重なる部分をどう整理するかなどを検討している」と語った。

児玉隆夫大同窓会会長、福岡美彦有恒会副会長のあいさつの後、柳本もてなしのまちづくり会の北村泰清会長(昭和34年、経済学部卒)が「地域活性化をめざして」と題して講演。天理市柳本町の黒塚古墳を中心とした歴史遺産にろうそくをとす「柳灯会(りゅうとうえい)」など5つの事業を説明し、「この10年間、多くのマスコミにも取り上げていただいた。ぜひ柳本を訪れてほしい」と呼び掛けた。

懇親会には、父が同支部の役員だった堀井氏も参加し、交流を深めた。

京滋支部

様々な近況報告で充実した定時総会

平成26年6月10日(火)午後6時より例年通り、新都ホテルにて定時総会が開かれた。出席は、来賓6名を含め総数66名。司会は、高橋幹事(経昭32)である。

まずは塚本支部長(経昭46)の挨拶に始まり、平成25年度の事業報告が藤野幹事長(商昭51)から成された。25年度は前年から始まったゴルフ会が軌道に乗り、毎回14～15名の参加者を集めていることや、新企画として若手のための新年会を開催し、多くの新人を集めたことなどが報告された。その後、会計報告、予算案などが提示され、議事は滞りなく終了、ご来賓の挨拶へと移る。

今回は来賓として、大阪市立大学副学長兼理事の宮野道雄様にお越し願ひ、大学の現在の様子などをお聞かせいただいた。理系の新校舎やけやき通りと称するメインロードの完成など、様変わりした大学の様子に一度訪れてみたいという気持ちを抱かせた。

引き続き、全学同窓会会長の児玉隆夫様から、全学同窓会の概要と活動について詳しいお話があった後、開高健関西悠々会の講演会が学校見学を兼ねて行われる旨、ご紹介があった。

その後、15分ほどの休憩をはさみ、二部の懇親会が始まった。有恒会副会長の福岡美彦様の乾杯に始まり、食事をいただきながら旧交を温めたり、初めて会う先輩後輩同士が時を忘れて語り合い、宴は大いに盛り上がった。

最後に大学事務局のお二人(荻本様、石村様)からご挨拶があり、プレゼントとして大学構内を撮影した5枚入りの絵葉書セットが希望者に配られた。

(野々市秀夫・文昭57卒)

愛媛支部

全員参加型により和やかな総会&懇親会

大阪市立大学同窓会愛媛支部の平成26年度総会・懇親会が、平成26年6月28日(土)松山市内いよてつ会館にて、32名の参加者を得て開催されました。

本年度は、野田支部長の開会挨拶後、地元百貨店、(株)伊予鉄高島屋の代表取締役社長奥村正綱氏(経昭48)による消費税8%導入時の百貨店業界の興味深い動向を、全員参加のクイズ形式でお話いただきました。(数名の回答者の内、近似値の方には、景品プレゼントがありました。)これで、参加者全員の緊張もほぐれ良い雰囲気での総会へと入って行けました。

総会での冒頭、ご来賓として出席いただいた宮野副学長様・児玉全学同窓会会長様からご挨拶いただき大学の取り組みや全学同窓会の現在の状況など最新情報をお話いただきました。

その後、総会の議題も無事終了し、寺田政友氏(商昭29)の乾杯のご発声により懇親会のスタートです。おいしい料理とおいしいお酒と世代を超えた会話で大いに盛り上がりました。懇親会では、参加者全員が、マイクを回しての近況報告、そのトップバッターを大学サポーター事務局の荻本謙二氏に話していただきました。楽しい時間は、あっという間に過ぎ、最後に全員で逍遙歌の合唱、大学旗の下で記念撮影をして終了となりました。本部からの来賓7名のご参加、また、本年度から昨年の総会でご提案のあった同伴者の出席を募ったところ、2名の方の出席があり、これも大いに盛り上がる要因となりました。

(紙面の都合上、出席者の氏名が掲載できなかったことをお詫びします)

